

# 令和5年度 測量体験学習事業掲載記事 (建設経済新聞社 6月2日(金) 掲載)

実施日：令和5年5月24日(水)  
場所：京都市立西野小学校(山科区)

(5) 2023年(令和5年)6月2日(金)

建設経済新聞

昭和42年12月25日第三種郵便物認可

京測協

## 小学生が測量技術を実感

「測量の日」記念 体験学習



菊地会長



測量機器を実際に使用した体験学習

6月3日は「測量の日」。一般社団法人京都府測量設計業協会(京測協)菊地博之会長は、京都市山科区の京都市立西野小学校で、6年生を対象に令和5年度「測量の日」記念事業「測量体験学習」を行った。

次代を担う子どもたちに生活の中で様々な用途に使われている測量の意義や役割について知ってもらうとともに、GPSなどの最新の測量機器を使い「測量」について楽しく学習してもらうのが目的。平成20年度から毎年6月3日の測量の日の前後に府内各地の小学校で実施しており、国土地理院近畿地方測量部、京都府が後援。今年度は13回目となる5月24日、協会員ら約80人が事業に参加した。

体育館に集合した西野小学校6年生55人を前に、開会挨拶した菊地会長は「今日は、コロナ禍が収まり、4年ぶりの体験学習です。測量の基礎について、ゲームみたいなかたちで、楽しみながら学んでください」と児童に語りかけた。続いて、国土地理院近畿地方測量部の清水彦次郎氏が講師を務め「測量と地図のお話」を講演。地図には測量技術が活用されていることを分かりやすく説明した。

この後、校庭で実施した測量体験では、まず「私たちが住んでいる地球のどこで測った数値との誤差がどの程度あるかを体験してもらった。

「高さレベルコーナー」では、目測で、特定物(校舎の屋上等)の高さを推測してもらい、その後測量機器(トランシット)で測った数値との誤差がどの程度あるかを体験してもらった。

「GPSで地球を描くコーナー」では、事前にグループごとにイラスト等を決め、GPSを携帯し、そのイラスト等に沿って校庭を歩き、その軌跡をパソコン上に復元、イラスト等を紙に印刷し、GPSの精度や使われ方などを体験してもらった。

「絵を描くコーナー」では、協会員が測量機器を操作し、実物大の平等院(鳳凰堂)を校庭にライン引きで描き、児童らのドローンによる記念撮影を行った。

なお「測量の日」は、昭和24年(1949年)6月3日に測量法が公布され、平成元年(1989年)に満40年を迎えたことを機に制定された。



校庭に描かれた実物大の鳳凰堂と参加者の記念撮影